

平成 30 年度第 2 回浜田市環境清掃対策審議会会議録

【日時】平成 31 年 3 月 26 日（火）

午後 1 時 30 分～午後 3 時

【会場】浜田市立中央図書館多目的第 1 ホール

【出席状況】委員出席 9 名 委員欠席 1 名 事務局出席 4 名

1 市民生活部長あいさつ

2 宮本会長あいさつ

3 審議事項

1) 平成 31 年度一般廃棄物処理実施計画の策定について

⇒承認

【委員からの意見・質問】

Q:ごみ処理実施計画で 3 月分を 50%としているが、31 年度は半月分削減しなければならないが削減対策はあるのか。

A:雑がみを古紙として再利用すること及び、生ごみの水切りによる可燃ごみの削減を進めるため周知啓発に取り組みます。

Q:生活排水処理率の改善について、浜田市の今後についての方向性を伺いたい。

A:市街地の整備は、平成 32 年から取り組む予定です。

合併浄化槽の普及についても引き続き取り組みます。

Q:生活排水処理率を上げる必要があるがどのような計画か。

A:平成 33 年度から実施される基本計画の目標値により、生活排水処理率向上に努めます。

Q:浄化槽人口は東部の割合はどのようになっているか。

A:東部の浄化槽人口は 90%以上です。

Q:自家処理人口はどういうことか。

A:自宅でし尿を肥料として使用している人口です。

報告事項

1) 小型充電式電池の拠点回収について

【委員からの意見・質問】

Q:小型充電式電池の処理については有料か。

A:無料です。

2) 分別変更後の状況について

【委員からの意見・質問】

Q:許可とは何か。

A:一般廃棄物収集運搬業許可業者が収集するごみの量のことで。

Q:電話等の問合せでどのような問い合わせが多いのか。

A:ポリバケツのような固いプラスチックごみを燃やせるごみに出しても大丈夫か、化粧品の容器はどのように分別したらよいのか、などの問合せがあります。

Q:分別で迷うものは、今後どのような対応をするのか。

A:よくある質問を取りまとめて、ホームページに掲載します。

Q:平成30年3月は年度末でごみの量が多いと思うが、燃やせるごみの排出量はどれぐらいか。

A:平成30年3月の燃やせるごみの排出量1237トンです。

Q:雑がみの排出量の推移がわかりますか。

A:雑がみの量は変わっていません。

Q:雑がみの出し方で良い方法はないか。

A:雑紙の出し方は雑誌などの間に挟んで出してください。

Q:雑がみと水切りについては、知らない人が多い。

A:引き続き周知啓発に努めます。

Q:雑がみの出し方やごみの分別方法など、子供に教える場合分かりづらい。

A:ごみの分別について分かりやすく出来るように検討したい。

Q:合成洗剤の利用が減って良くなり水質がよくなったが、海に必要な成分が失われた。今後の対策が必要ではないか。

A:関係機関と協議しながらできるところから行っていきます。

Q:限界集落などでは高齢者がごみを持って出ることが難しくなっている。指導員の方がしっかりと地域貢献していただきたい。

A:指導員の職務の中で出来るところを説明会でお願いします。

Q:ペットプラの品質は上がったのか。

A:出荷物の検査結果では良質という結果が出ていますので、良質と思われます。

Q:ペットプラの減少はスーパーへの持ち込みが増えたのではないか。

A:影響はあると思います。

3) 弥栄自治区の浜田市環境清掃指導員設置について

【委員からの質問・質問】

Q:名前だけでなく大切な役割ですので、説明会でしっかりと説明をお願いしたい。

A:わかりました。

4) 金城自治区の古紙の収集方法の変更について

【委員からの質問・質問】

Q:屋根がないところに出せば古紙が濡れるが、濡れてもよいのか。

A:古紙は濡れても品質には影響はありません。

Q:この件については委員に協議のないまま決められている。どのような結果で何か問題があつて変更になったのか。リサイクルボックスも利用しても良いのではないか。

A:リサイクルボックスに持ち込みをするのが困難な方から、ごみステーションでの収集希望が多くあり変更となったと金城支所から聞いております。

4 その他

エコクリーンセンターでの火災についての報告